

一般演題（オンライン）

1) Zoomブレイクアウトルームを利用します。

Zoomに入室されたら演題ごとにブレイクアウトルームが分かれていますので、自由にご移動ください。

2) 発表・討論

次頁で黄色セルのついている日時は、発表者が必ずブレイクアウトルームに待機しています。

参加者の質疑に答え、対話を重視した発表・討論となります。

3) 自由討論

黄色セル以外の日時に「○」のついている日時についても、発表者が参加している可能性がありますので、是非ブレイクアウトルームを覗いてみてください。

発表者がいたら自由に討論していただいても結構です。

※黄色セルが発表・討論日です。その他の「○」は自由討論となりますが、発表者の都合で参加が叶わない場合もございます。予めご了承ください。

演題番号	氏名	セッション	タイトル	6月20日(月)		6月22日(水)		6月23日(木)	
				14:30-16:30	13:00-15:00	15:00-17:00	19:00-21:00	13:00-15:00	19:00-21:00
WP1	多田 満	ポスターセッション6	論文詩——科学と科学者と市民のためのコミュニケーションツール		○				○
WP2	服部 祐季	ポスターセッション5	【グリアドコード】マウス胎生早期における脳室内腔マクロファージとミクログリアの細胞動態	○					
WP3	阿部 欣史	ポスターセッション5	【グリアドコード】局所脳血流変化はマウスの行動や神経活動に影響を与えるのか	○					
WP4	井垣 達吏	ポスターセッション9	競合的コミュニケーションから迫る多細胞生命システムの自律性					○	
WP5	齊藤 秀俊	ポスターセッション7	【グリアドコード】社会的ストレスによる痛みの変調とグリアの関与			○			
WP6	山田 祐樹	ポスターセッション9	Journal of JAAS: 本協会オリジナルのジャーナル創刊に向けて	○				○	
WP7	高嶋 魁人	ポスターセッション9	新しい査読システムの提案: 「三位一体査読」で研究者の書類作業削減と研究の透明性向上を目指す					○	
WP8	本田 由佳	ポスターセッション5	女性の健康課題の分析とデータビジュアライゼーションの検討～情報科学×アート×医療の融合による創造～	○					
WP9	岡部 繁男	ポスターセッション8	【グリアドコード】2020年度探択 学術変革領域(A)「グリアドコーディング: 脳-身体連関を規定するグリア情報の読み出しと理解」	○			○		○
WP10	渡邊 文隆	ポスターセッション5	日本の科学を「寄付」で元気に! —寄付者・研究者に知ってほしい3つの寄付研究と日本の課題—	○					
WP11	田中 勇希	ポスターセッション6	ムーンショット研究: 微小炎症制御プロジェクトとは? <量子技術と神経回路の人為的な制御による健康長寿社会実現への挑戦>		○				
WP12	大槻 麻由香	ポスターセッション6	風鈴文化の保存		○		○		
WP13	赤神 青空	ポスターセッション8	学生主体の科学コミュニティの運営と展望について	○		○	○		
WP14	小関 泰之	ポスターセッション7	誘導ラマン散乱顕微鏡法の開発と応用			○			
WP15	澤田 洋平	ポスターセッション6	社会気象学の開拓: 自然科学と社会科学の連携による革新的天気予報へ向けて		○				
WP16	田中 悠平	ポスターセッション7	自然環境水中でレアアースはどのようにどのくらい存在しているのだろうか?—ユウロピウムとカルボン酸のスペシエーション—	○		○		○	
WP17	江部 広治	ポスターセッション7	電気化学プロセスを主体とする革新的CO2大量資源化システムの開発			○			
WP18	片桐 友二	ポスターセッション10	リサーチワーキンググループの活動と課題						○
WP19	神谷 真子	ポスターセッション6	機能的ラマンプローブによる革新的多重イメージング		○				
WP20	近藤 洋史	ポスターセッション9	日常の音に対する感受性: ASMRと音嫌悪症の関係					○	
WP21	堀内 浩	ポスターセッション5	【グリアドコード】脳内免疫細胞における活動情報の時空間解析	○					
WP22	小久保 治哉	ポスターセッション10	バーチャル学会: ソーシャルVR環境を用いた学術発表の実現			○	○		○
WP23	片岡 孝介	ポスターセッション9	世界規模の食料危機に向けたコオロギのゲノム科学研究と社会実装に向けた学際研究	○				○	
WP24	宮下 晴気	ポスターセッション10	テンセグリティ構造について						○
WP25	白垂 マウル	ポスターセッション8	古生物学におけるデジタルコンテンツを利用した博物館教育の試みと、日中間の比較				○		